

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 28日

事業所名 CoCo

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	2か所の訓練室と戸外を利用し、出来るだけ広くスペースを使えるようにしている。	運営規定を満たしており、パーテーションの使用も行い、安心・集中して取り組めるようにしています。また駐車場をコンクリートにすることで、戸外活動と室内活動で分けて過ごせるようになっています。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	必要とされる配置数に加え、それ以上の職員を配置しています。	職員全員が、日々スキルアップが出来るよう、研修体制を整え、引き続き取り組んでまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	83%	17%	入口にはバリアフリーになっており、トイレ・階段には手すりをつけています	環境整備を心掛けてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%	会議や支援終了後、振り返りを行い、職員間で共通認識を持って支援できるようにしています。	支援の質の向上に向けて、様々な研修を参考に進めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様から頂いたアンケートにより改善に繋がっていきます。	改善が必要な問題についてより良い環境作りができるように取り組んでまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開しています。	引き続き、ホームページにてお知らせさせていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	現時点では外部評価は行っていません。	今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	積極的に研修へ参加し、報告も行っていきます。	常に新しい情報に目を向け、職員のスキルアップを目指しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%	現状を把握したうえで、アセスメントを行い、計画を立てさせて頂いています。	ご本人・ご家族様の困りごとの解決に向け、また楽しかったと言われるような計画書の作成が出来るよう努めてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	0%	使用しています。	定期的にツールが適切なのか見直しを行い、必要な際は内容の変更をおこなっています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	0%	会議や日々の支援の中で、話し合っています。	外部からの情報収集を行い、さらに充実したプログラムが出来るよう、話し合いを進めていきたいと思っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	0%	1人ひとりの理解や行動に合わせ変化、また楽しめるよう工夫を行っています。	成長に合わせてながら、楽しみ取り組めるプログラムの提供をしていきます。しかし、本人の状況に合わせて、気持ちの安定のために必要な際は固定化も行います
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%	使用時間に合わせて設定をしています。	課題・目標を検討・共有し、効果的な支援を進めていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	相談支援員と共有し、保護者さまと話し合うと共に、本人の様子も考え、作成しています。	学校行事などの状況の把握を行い、お子様の様子も合わせ、個別と集団の活動の割合を考えていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	活動の目的・個人の配慮点・対応方法・環境設定・配置などは、文字や図にしておき、口頭と視覚での確認をおこなっています。	職員間での打ち合わせ、意見交換を引き続き行っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	送迎もある為、職員の終了時間が異なる為、管理者や児発管に伝えると共に、個人の記録表に記載してもらい、全員が把握できるようにしています。	引き続き行き、強みを伸ばしていけるよう支援に繋がっていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%	日々の様子を記録し、支援に対する反応などから改善点を見い出せるようにしています。その後職員間で話し合い、共有しています。	記録をとる際に意見交換を取り入れ、内容の正確さを図っていきます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に行っています。変化が見られた場合や必要に応じて見直しを行っています。	引き続き、成長や現状に目を向け、個々に寄り添った計画書作成を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	83%	17%	ガイドラインの基本活動を複数組み合わせ合わせて支援しています。	成功体験を通じて、自己肯定感を高めていけるような活動を取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者または児童発達支援管理責任者、児童指導員が参加しています。	担当者会議だけでなく、相談支援員への連絡・報告を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	保護者様より行事や下校時間等の情報を頂いています。気になることは、送迎時や学校へ電話をし話をさせて頂いています。	引き続き、学校との関係性など児童の周りの環境を大切にしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	33%	67%	現時点で医療的ケアが必要な児童の利用がない為、行っていません。利用される際には、体制を整えていきたい。	利用があった際には体制を整え、安心して利用できるよう努めさせていただきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%	保護者様より譲歩を頂いています。	今後、必要な際には情報共有し務めさせていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	相談支援を通して、情報提供を行っています。	関係機関での情報共有に努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	研修は出来る限り参加しています。	引き続き研修への参加を行い、アドバイスを頂き、支援の構築をおこなっていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	コロナの状況を見て、少しずつ地域のイベントに参加しています。	今後も状況を見て、安全と思える行事には参加し、地域の方との交流をもてるようにしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	83%	17%	出来る限り参加しています。	引き続き、可能な限り参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時に伝えさせていただき、気になることは電話等で、お話をさせて頂いています。	引き続き、情報交換を行ってまいります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%	支援のフィードバック時に、ご家庭での対応方法を伝えさせていただいています。	職員の専門性を高め、保護者様への情報提供ができるよう、研修への参加を引き続き行っていきます。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	17%	利用契約時に説明刺させて頂いています。	不明な点がある時には、その都度説明させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	お話があったときには、一緒に考え、対応の提案をさせて頂くようにしている。	支援方法が増えるよう、情報収集や研修への参加を積極的に行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	コロナ感染防止の概念から、現在は中止しているが、もちつきなどのイベントを行ない、交流の場を設けている。	今後、イベント以外にも研修の企画も行き、保護者様に参加して頂けたらと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	職員に状況の聞き取りをし、対応方法など説明させて頂いています。職員間で共有し改善に繋げています。	日ごろから信頼関係にも力を入れ、すぐに話して頂けるよう努めさせていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページを使用しています。その他、手紙で配布していることもあります。	引き続き、ホームページでの日頃の活動の様子や緊急時対応のマニュアル等の情報を伝えさせていただきます。緊急時対応は、今後紙面での配布も検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	必ず鍵付きのところへ保管し、鍵の管理も十分に注意している。	第三者への情報伝達が必要な場合は、必ずご本人、ご家族の了承頂いた上で行います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳や送迎時、訪問や来所、電話などで状況や課題を共有しています。児童に合った伝達方法(言葉・文字・絵カード)を行っています。	引き続き、一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	コロナの感染防止の概念から行っていない。	今後状況をみながら、事業所を知ってもらえるよう努めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	全てのマニュアルはホームページに掲載し、いつでも確認して頂けます。	引き続き、ホームページへ掲載させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練・備蓄の確認を行っています。	今後も災害に備え、訓練を続けていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修が開催されるたびに参加し、報告を行っている。また所内研修も行っている。	虐待防止への意識が高まるよう、虐待につながる恐れのある事案など、常に話し合い、慎重に進めさせていただきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	67%	33%	身体拘束が必要な児童年代がない為、計画書への記載はない。	今後必要な場合には、状況やタイミングを何度も話し合いを重ね、計画書への記載も含め、慎重に進めさせていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギー除去を行っている。	引き続き、医師の指示書に基づき、アレルギーの確認を行い、調理方法など細かく確認し、安心して食べていただけるようしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	いつでも見れるように保管しており、会議でもヒヤリハットを使用し、情報共有・対策を話し合っている。	引き続き、ヒヤリハットを活用し、職員間で周知していきます。